デザイン審査部会の新規設置について

景観計画に基づく協議・届出や大規模面的整備の検討書の各種景観協議やデジタルサイネージの設置協議を円滑に進めていくため、本委員会に「デザイン審査部会」を設置し、意見を聴くことができる仕組みとする。

(1) 審査事項

部会は、本市景観施策に関する次の事項を審査する。

- ① 景観法第 16 条第 1 項及び第 2 項に基づく届出に関する事
- ② 大規模な面的整備に係る良好な都市景観への配慮に関する事
- ③ 重点届出区域におけるデジタルサイネージ等に関する取扱要綱に関する事
- ④ その他本市の良好なまちなみの形成上必要となる事項

(2) 組織

都市景観委員会の委員と専門委員とで組織する。

(3) 設置日

平成 29 年 10 月 1 日

(4) 今後の予定

平成 29 年度（部会 3 回程度）

- ・デザイン審査部会の進め方（第 1 回：10 月上旬）
- ・景観計画に基づく協議・届出に対する審査等（必要に応じて都度）
- ・デジタルサイネージ実績報告に伴う審査（2 月下旬）

(参考) 大阪市都市景観規則 (平成 29 年 5 月 11 日 規則 101)

第 21 条 委員長が必要と認めるときは、委員会に部会を置くことができる。

- 2 部会は、委員長が指名する委員及び専門委員で組織する。
- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから委員長が指名する。

(参考) 建築美観誘導デザイン会議での主な審議内容と委員 (※は座長)

建築美観誘導デザイン会議については、大阪市建築美観誘導制度におけるデジタルサイネージ等取扱要綱第 14 条の規定により平成 26 年 11 月 14 日に設置し、これまでデジタルサイネージの設置・完了に際し、会議を開催し、意見聴取を行った。

今回、デザイン審査部会を新規設置するにあたり、当会議は廃止し、当会議の役割をデザイン審査部会へ継承する。

●第 1 回 (H28.8.29) - 第 5 回 (H29.3.24)

- ・ 建築美観誘導デザイン会議の進め方 (第 1 回)
- ・ デジタルサイネージ設置協議に伴う意見聴取 (第 1 回・第 3 回) 及び完了検査 (第 2 回・第 5 回)
- ・ デジタルサイネージ実績報告に伴う意見聴取 (第 4 回)

※嘉名光市	大阪市立大学大学院工学研究科准教授
田中みさ子	大阪産業大学人間環境学部准教授
長町志穂	LEM 空間工房代表取締役
福田知弘	大阪大学大学院工学研究科准教授

大阪市建築美観誘導制度におけるデジタルサイネージ等取扱要綱の改訂方針

◇現行の大阪市建築美観誘導制度におけるデジタルサイネージ等取扱要綱（平成 26 年 11 月 14 日制定）の概要

- 大阪市建築美観誘導制度で原則禁止となっている ①点滅又は動く広告物（デジタルサイネージ） や ②建築美観誘導基準を超過する大きさの広告物（ただし、掲出期間が1カ月以内の広告物に限る） について、にぎわいの形成やまちの魅力向上につながるデザイン性の高いものと認められる場合は、この要綱の規定により、設置可能とした。
 - ① デジタルサイネージの設置が可能な範囲：建築美観誘導路線の一部モデル区間（**四ツ橋筋・御堂筋の大阪駅前から国道2号までの区間及び御堂筋の難波駅前から道頓堀橋北詰までの区間**）
 - ② 一時広告物の設置が可能な範囲：建築美観誘導地区
ただし、次回掲出の際は、今回掲出期間の5倍以上の期間をあけることを条件としている。

◇今回の主な改正点

- 今回の要綱改正は、景観計画の変更に伴い改正するものであり、対象範囲や基準、手続き方法等については、現行制度の考え方を継承する。
- 大阪市建築美観誘導制度の廃止（平成 29 年 9 月 30 日）に伴う変更
 - ① 要綱の名称
大阪市建築美観誘導制度におけるデジタルサイネージ等取扱要綱
⇒ 重点届出区域におけるデジタルサイネージ等に関する取扱要綱
 - ② 要綱の対象となる範囲
建築美観誘導地区 ⇒ 重点届出区域
※重点届出区域とすることで「中之島地区」が新たに追加されるが、デジタルサイネージが設置できる範囲については変更なし
 - ③ デジタルサイネージ・一時広告物の設置する場合等の意見の聴取
建築美観誘導デザイン会議 ⇒ 都市景観委員会（デザイン審査部会）